



潮路っ子

令和5年 8月31日 第5号

発行責任者 潮路小学校長 藤村輝之

Well-being な学校をめざして

校長 藤村輝之

2学期がはじまり、子供たちの元気なあいさつ
の声、はじける笑顔、学校に活気が戻ってきました。
今年、行動制限がなくなったこともあり、
ここ数年を考えますと、やりたいことができた夏
休みになったのではないのでしょうか。

始業式のなかで行われました代表児童の発表か
らは、「買い物に行った際に食べたファーストフ
ードの味がおいしかった」「サーカスを見に行っ
て感動した」「遊園地で楽しんだ」「背泳ぎが泳げ
るようになった」「花火がきれいだった」等々、
思い出が発表されました。長期休業中に、普段で
きない貴重な体験を積むことができ、ひとまわ
り大きく成長したように感じました。

また、この2学期にがんばりたいこととして
「下級生のお手本になりたい」「これまで以上に
算数をがんばりたい」と、力強く決意も伝えてく
れました。

今夏で原爆投下、日本の終戦から78年が経ち
ました。5月に行われたG7広島サミットでは、
広島平和記念公園（資料館）に各国のリーダー並
びに招待機関の代表者が集まり平和を願ったこと
が各種メディアでも報道されていました。この会
合では、エネルギー・食料安全保障を含む世界経
済や、気候変動、保健、開発といった地球規模の
課題に対しての取組について議論されました。

何度も耳にして印象に残ったのが、「対立では
なく協調」という言葉でした。明治・大正と進め
てきた昭和初期頃の日本は、現在でいう「グロー
バル・サウス」の一国だったのかもしれませんが。
地球規模の課題解決にむけて地道な貢献と協力の
呼びかけを実現していくことが願われます。

さて、同サミット、教育については、教育大臣
会合として、富山市と金沢市内にて4日間の日程
で「コロナ禍を経た学校の在り方」や「すべての
子供たちの可能性を引き出す教育の実現」等につ

いて議論されました。

ここで議論の成果として確認された共通ワード
に「well-being（ウェルビーイング）」という言葉
がたくさん使われていました。

ウェルビーイングとは、「一人一人が肉体的、
精神的に、社会的にも生きがいを感じて良い状態
にあること」、もう一つは、「地域や社会に幸せや
豊かさを感じられる良い状態にあること」をいう
そうです。

個人的に叶えられるものと他人とのつながりが
大切になるものと、双方のバランスがとても重要
とされているそうです。

これを学校生活で実現させるためには、慶應義
塾大学大学院の前野隆司教授は、「4つのポイン
ト [因子 (時間通過の check 点)] を大切にしたい」と整理されています。

- ①やってみよう！と思う [自己実現と成長]
- ②ありがとう！と伝える [つながりと感謝]
- ③なんとかなる！と捉える [前向きと楽観]
- ④ありのまま！にいる [独立と自分らしさ]

学校生活のなかで、これらのポイントを通過す
る時間は一瞬です。本校教育活動においても、こ
れら4つの瞬間を味わえる場面を意図的につくっ
て、子供たちに実感してもらいたいと考えます。

今学期も教職員一同、一丸となって、一人一人
の子供に寄り添い個に応じた指導とともに、集団
としての力を高める指導に重点に置き、教育活動
を充実させてウェルビーイングな学校づくりに力
を尽くしてまいります。

また、体験学習、マラソン記録会、学習発表会
等行事もたくさん控えています。集団活動を通し
て、子供たちが気持ちを合わせて一つのことを成
し遂げる体験的な学びの機会を充実させていき
たいと思います。これからも、保護者・地域の皆様
のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

2学期始業式



8月18日に始業式が行われ、校長先生から「がんばることが『美』、がんばったことでどんな結果が現れるのか？それが自分の成長」と、話がありました。

次に4・5・6年生の代表1名が、夏休み楽しかったことと、2学期がんばりたいことを発表しました。

夏休みの楽しかった思い出では、サーカスを見に行ったことや、2学期はマラソンや学習発表会等の行事や勉強をがんばりたいと決意を新たにしていました。

職員一同、子供たちのがんばりをバックアップしていくことができるよう努めます。

宿泊研修 8月24日～25日



歌才自然の家入館
みんな疲れてる？



火おこし
なかなか火が付きません



ブナ林散策

本校の5年生6名が寿都小学校5年生と合同で宿泊研修に行ってきました。この研修は、様々な体験活動を行い、その時々で自分の役割を果たし集団行動をできるようにすること、地域の自然環境について学習することを目的としています。

1日目ははじめに、黒松内のブナ林をガイドさんの解説を聞きながら歩きました。北限のブナについて学ぶことができました。

次に火おこしと、棒パン焼き体験では、グループで協力し火をおこし、パン焼きを楽しむことができました。みんなで苦労しておこした火で、みんなで焼いたパンは、最高の味でした。

夕方、歌才自然の家に入館してからは、寿都小・潮路小が混じった部屋のメンバーで過ごしました。先生方は、みんな仲よく過ごせるのか心配しながら見ていましたが、みんな楽しく過ごことができました。

2日目は全身で川を体験しました。魚を見つけたり虫を見つけたりと、存分に楽しむことができました。

来年の修学旅行も同じメンバーになります。今回の経験を生かして集団行動をとれるようにしてもらいたいです。

また、今回体験的に学ぶことができたブナや川のことを総合的な学習等に役立ててくれることを期待しています。



火おこし準備
ノコを引く！



ブナ林散策
発見！



水中観察中

フローティング

絵本の読み聞かせ

8月25日に読み聞かせボランティアのさんが1・2年生に絵本の読み聞かせをしてくださいました。

この日は「とんかつのぼうけん」を読んでもらいました。子供たちは、真剣な眼差しで聞いていました。

これからの予定

9/6 高学年ブックトーク、9/20 中学年読み聞かせ、9/27 低学年ブックトーク

ブックトークとは？

本を紹介する活動です。紹介してもらった本は、ホールに展示して子供たちが借りられるようにしています。



真剣な眼差し

9月5日（火）「一日防災学校」

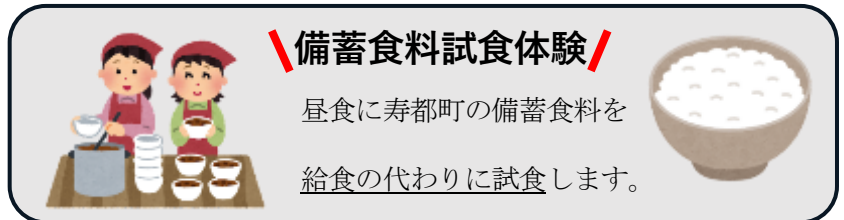
9月5日の3時間目～給食の時間にかけて、一日防災学校を実施します。

毎年行っている地震の避難訓練を行い、「体育館に避難した」という想定で行います。潮路小学校は町の避難所に指定されていることから、地域の方も当日「避難」してきます。子供たちは、縦割り班で「避難所設営体験」と「備蓄食料試食体験」を行います。



避難所設営体験

パーテーション、テントでプライベート空間を作ってみます。段ボールベッドも体験！



備蓄食料試食体験

昼食に寿都町の備蓄食料を給食の代わりに試食します。

マラソン記録会9月23日に向けて

2学期の開始に合わせて、マラソンの取組が始まっています。マラソン記録会では、自分で選んだ1000m～3000mの距離を走ります。当日は、地域公開参観日としていますので、保護者の皆様を含め多くの方に応援していただけると幸いです。

さて、記録会までの取組ですが、まずは、「マラソンきろくカード」の取組を始めています。体育館を2周走れば1マス、グラウンドは1周で1マス塗りつぶしています。個人の取組で走ることに慣れて、記録会では全力を出し切れるようにしてほしいです。

これからの取組として、全校体育（9月1日、6日）、マラソン週間（9月13日、15日、20日、22日の中休み）にみんな練習します。仲間と走れば、さらにかんばれるものです。一連の取組をとおして、目標に向かってがんばる気持ち、持久力を育てていきます。子供たちが頑張れるよう、ご家庭でご支援をよろしくお願いいたします。



【参考データ】

マラソンでは持久力を高めることもねらっています。体力テストでは「シャトルラン」の結果が参考になります。表は、令和5年の本校平均と（令和4年全国平均）を比較したものです。

単位：回	1年	2年	3年	4年	5年	6年
男子	10.3(18.1)	18.0(27.7)	59.3(35.2)	45.6(42.8)	44.5(45.9)	21.5(57.5)
女子	10.0(15.6)	(21.6)	31.6(27.8)	34.5(34.0)	48.3(37.0)	67.0(45.1)

※本校は人数が少ないので年度ごとに大きな差が出ますが、全国平均は年度による違いが少ないので、比較したものです。

※シャトルランとは20m間を往復した回数を記録する持久力を測る体力テストです。